



PROGRAM NOTE

2020年11月

宗教改革記念日に寄せて マルチン・ルターの信仰

今から500年以上前の1517年10月31日。この日はキリスト教の教会史にとっての大きな転換期となりました。当時は、1492年にコロンブスが大西洋を渡って新大陸を発見。1522年はマゼランの船が世界一周。ポルトガル、フランス、スペインの諸国も続々と未知の世界へと足を伸ばし、イギリスとオランダも新天地の開拓へ乗り出すなど、世界的な変動の時代でした。その最中、キリスト教会にも新しい歴史が始まろうとしていました。それが『宗教改革』です。旧約聖書に基づく伝統的で閉鎖的な考え方を、新約聖書を土台にした本来の姿に引きもどす改革だったといわれています。それは、歴史と伝統あるローマ・カトリック教会に対する反抗「プロテスト」とみられたのです。その口火を切ったのがマルチン・ルターでした。その背景には、自分自身、修道僧であるだけに、聖書の教えから離れている教会の現状へ反省を促し、本来の姿に立ち返って欲しいという純粋な気持ちがあったのです。

マルチン・ルターが生まれたのは、ごくありふれた中流家庭でした。父は銅を精錬する工場主で、母は信仰深く、心優しい人でした。ルターは頭が良さうなので法律家にでもさせようと5歳から小学校へ通わせ、大学の成績も抜群でした。ある日、大学から帰宅途中、黒雲が張り出し雷鳴が轟き、次の瞬間、火の玉がルターのすぐそばに落ちたのです。怖さに震えたルターは思い切り声を張り上げ助けを求めました。「神様、私をお守りください！」そのあとルターは「私は修道僧になります！」と叫んでいたのです。

修道院に入ったルターは司祭となって祈りと奉仕の共同生活をおくりはじめました。しかし、なかなか得心のゆく経験が得られず、修道僧としての修行を積み重ねても心の奥底にうごめく罪悪感からの解放は得られませんでした。余りにも自分を苦しめる悪魔の気配にたまらなくなつて、机の上のインク瓶を壁に向かって投げつけたこともあります。今も部屋の壁にはその跡が残っています。また、聖都ローマをたずねた時には、「寺院めぐり」でラテン宮殿の「聖なる階段」をひざでのぼる修業も試みたのですが答えは見出せませんでした。

そのうち、ルターは教壇に立って教えるようになった時、そこに神は待ち伏せしておられ、教えながらルターは自分が探し求めていた答えと出会うことができたのです。ルターはその時の体験を新約聖書ロマ書が「聖書の心臓である」と表現していますが、その心臓から迸り出る真理の血潮が体中にみなぎり、ルター自身の心の悩みや苦しみが薄まるとき同時に「救いの確信」という筋肉が盛り上がりていくような体験をすることができたのです。「救い」について聖書がくりかえし強調しているのは「人が救われるのではなく、神の一方的恵みによる」いうのが答えだったのです。

「教会ではない、律法でもない。人が罪から、悪から、救われるのではなく、神ご自身の一方的な恵みによるのだ。救いは神がすでに備えておられる。それが神の約束であって、神の前では「人の行い」は何の保証にもならない。神が備えてくださった恵みによってのみ信仰に入れていただくことで、信仰が始まり、信仰が育まれていくのは修養や努力によるのではなく。Sola Fide（信仰によってのみ）Sola Scriptura（聖書によってのみ）Sola Gratia（神の恵み）によってのみ」このことを確信させられたルターは95条にわたる公開状を教会正面に貼り出すために立ち上ります。

ところが教会側は、ルターを喚問するために皇帝、地方の諸侯、宗教指導者たちの前に引き出して、ルターに「貼り出した抗議文を撤回せよ」と迫ったのです。その時、ルターは法廷の真ん中に立ちました。左手をしっかりと聖書の上に置くとこう叫んだのです。「私は、この聖書によって明白な理由づけを与えられ、確信させられないかぎり、私の考えは変えるわけにはいきません。私の心は、神に捕らえられています。神の言葉を信じ、私はここに、こうして立つしか他に何もできないのです！ 神よ、助け給え。<Here I Stand>」こう言いながらルターは右手をあげて天を仰いだのです。その後、ルターは詩篇46編『神はわがやぐら』を讃美歌にしました。詩人ハイネはこの讃美歌をプロテスタントの士気を鼓舞する「宗教改革の革命歌」だと評しています。（写真は東京の細谷正夫さんがドイツで手に入れた宗教改革500周年記念絵葉書）

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
10月31日	宗教改革記念日特集（ルターの信仰）	11月01日	聖書遊覧バス：創世記 アブラハムの忠誠（1）
11月07日	マリンバの調べ・希望の言葉	11月08日	聖書遊覧バス：創世記 ア布拉ハムの忠誠（2）
11月14日	折り紙の詩：バグダッド訪問	11月15日	リスナーからの「お便り交換の時間」
11月21日	ZOOMミーティング（第四回）前半	11月22日	ZOOMミーティング（第四回）後半
11月28日	南米ふれあいの旅（ボリビア篇）	11月29日	聖書遊覧バス：創世記 ア布拉ハムの忠誠（3）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz （再放送） 午後8時～8時30分 11.905kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

*受信報告書をメールで送る場合：hcjbjapan.office@gmail.com

